

第4回フードバンクにいがた総会

記念シンポジウム 5月19日 3:15~5:00

「なぜいま、子ども食堂なのか？」 — 私たちが支援できることを提案する —

日本の子どもの貧困率は16%を超え、ここから見えてくるのは、時に食事のままならず、教育も十分受けられない子供たちの存在です。

日本社会にあっても格差が拡大し続ける中、そこから生じる「貧困の連鎖」を是正し、子どもたちが夢の持てる社会にしていかなければなりません。

近年、全国的に「子ども食堂」が次々と立ち上がり、新潟でも昨年に続き、今年に入ってから有志による子ども食堂が開所しました。

そこで、フードバンクの総会を機に、子ども食堂に関わる方々と専門的立場の先生方にお集まりいただき、子ども食堂をはじめとする子ども支援の意義やあり方をテーマとするシンポジウムを企画いたしました。

この場を通じ、地域の支え合い=きすなづくり、地域活性化の原動力の一環として、私たちはどういった支援ができるのかを共に考え、そして行動していきませんか？



日時 : 2016年5月19日(木) 午後3時15分~午後5時00分

場所 : 新潟市万代市民会館 6階ホール

定員 : 先着 280名 (事前申し込み不要)

参加費 : 無料

登壇者：会田きよみ氏（ゆうやけこどもけやき食堂） 村山伸子氏（新潟県立大学 教授）
佐野政光氏（新潟医療生活協同組合なじょも） 小池由佳氏（新潟県立大学 准教授）
篠田浩子氏（新潟大学 講師） 立松有美氏（ふじみ子ども食堂）

☆プロフィール詳細は裏面をご覧ください。

後援：新潟県、阿賀野市社会福祉協議会

共催：ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟、
ワーカーズコープ北陸信越事業本部
新潟県労働者福祉協議会

主催：フードバンクにいがた

〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-2 勤労福祉会館4階
Tel.025-384-4466 fax 025-384-8224 mail: fbn@roukyou.gr.jp



イメージキャラクター：ふーどん

「もったいない」から「ありがとう」へ

フードバンクにいがた

フードバンクにいがた第4回総会記念シンポジウム

— 「いま、なぜ子ども食堂なのか？」

「私たちができる支援はなにか？」 —

パネラーのご紹介



2015年夏「にいがた子育てステーション」を設立。2016年1月新潟初の子ども食堂、にいがた「ふじみ子ども食堂」を開設する。

立松 有美 代表
ふじみ子ども食堂



2017年に西区上新栄町で建設予定の交流拠点（高齢者・障害者・子供、地域住民が集い暮らす）の「社会福祉法人けやき会」設立準備会代表。

会田 きよみ 代表
ゆうやけ
こどもけやき食堂



なじよもの事業は、ショートステイ、デイサービス、訪問介護、放課後児童クラブ等がある。5月に子ども食堂オープン予定。

佐野 政光 総合事務長
新潟医療生活協同組合
なじよも



子どもの食事を保障するという観点から、貧困対策や政策の根拠をつくるための研究をしている。

村山 伸子 教授
新潟県立大学
健康栄養学科



専門は子ども家庭福祉、地域福祉。2009年4月より現職。地域に根ざした子育て支援のあり方や社会的養護について研究している。

小池 由佳 准教授
新潟県立大学
子ども学科



現在、新潟県内各地で運動による健康教育の分野で地域ぐるみでの中高齢者や幼児・児童の生活習慣病予防・体力づくりのプログラムの開発・提供・教育を行っている。

篠田 浩子 講師
新潟大学
長岡造形大学

フードバンクにいがたからのお知らせ

シンポジウム会場入り口で、フードバンクへの皆様の支援をお待ちいたしております

入会会員・寄付金の受付やボランティア登録の受付

会員入会は年会費で個人会員は1口2,000円から、団体会員は1口10,000円から

ボランティア活動の説明・登録・受付も行っています。

フードドライブ開催!!食品を持ち寄り生活困窮者・施設に無償でお届けする運動

常温保存可能・賞味期限2ヶ月程度あるもの、パッケージ未開封の食品

お米、缶詰、麺類、調味料（油・醤油・味噌・マヨ）、乾物類、レトルト、副食類等

お米1合、缶詰1個からでも!! 皆様の温かいご支援をお待ちいたしております

日時 : 2016年5月19日（木曜日）13時～17時

場所 : 万代市民会館6階 シンポジウム会場入口



イメージキャラクター：ふーどん